

かんきょう観察会報告

活動グループ名：赤塚公園自然観察会

観察日時：2020年3月1日（日） 午前10時～12時

観察地域：区立美術館前→赤塚公園→郷土資料館の横の道→バッタ広場→
赤塚城址公園梅林

参加者：6名 当日の天気：晴れ

観察結果：

◎植物

ウラジロチチコグサ
オオイヌノフグリ
カラスノエンドウ
クレマチス・ナパウレンシス
コメツブツメクサ
ジロボウエンゴサク
セントウソウ
ニリンソウ
ヒメオドリコソウ
ホトケノザ
ムラサキケマン

◎樹木

アオキ
ウメ
コブシ
ニワトコ
◎キノコ
アラゲカワラタケ
カワラタケ

◎昆虫

カマキリの卵鞘
ミノムシ

観察概要：

区立美術館前に10時に集合しました。コロナウイルスでイベント中止が相次いでいる影響か、集合したのは少なめの6名でした。

まずは溜池公園前の階段を上った歩道橋の一角で野生化したクレマチスの観察をしました。さらにその近くの赤塚公園の山裾で、アラゲカワラタケ、カワラタケ、ニリンソウを観察しました。

郷土資料館の横の道沿いでは、アオキ、ニワトコを観察しました。ジロボウエンゴサクの群生する斜面では、セントウソウ、ムラサキケマン、咲きはじめてのニリンソウを観察しました。

バッタ広場では、カマキリの卵鞘やミノムシを観察しました。

赤塚城址公園梅林では、ウラジロチチコグサ、コメツブツメクサ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、カラスノエンドウを観察しました。ウメの花はもう盛りを過ぎていましたが、コブシは5分咲きほどでした。

美術館裏の斜面が伐採作業中でしたので、それも見学しました。思い切った伐採で、随分とスッキリ見通しが良くなっていました。

<2020年3月1日 赤塚公園自然観察会写真>



クレマチス・ナパウレンシス



コブシ



アラゲカワラタケ



カワラタケ



ニワトコ



ニリンソウ



コメツブツメクサ



カマキリの卵鞘



ミノムシ